

漫画・アニメ等による東北圏の活性化

日本の漫画・アニメ産業の市場規模は近年拡大しており、地方圏においてもアニメ制作会社やその関連産業の進出が進展するなど、新たな産業の担い手としての期待が大きい。また、自治体などによる漫画・アニメコンテンツを活用した地域活性化事例やアニメファンが漫画・アニメなどの舞台・ロケ地を訪れる聖地巡礼(アニメツーリズム)などによる地域活性化も着目されている。

東北圏においても、近年、ネット環境の整備やデジタル化の進展などを背景に、アニメ制作会社の進出が見られるほか、漫画・アニメを活用して地域活性化に取り組む事例や全国的にも知名度の高い聖地巡礼スポットが一定数存在するなど、地域活性化に向けた漫画・アニメ産業の持つポテンシャルへの期待は大きい。

本特集ではまず、漫画・アニメによる地域活性化の状況を統計データ等に基づき示す。次に、宮城学院女子大学の菅野教授より、東北圏の事例を軸にコンテンツツーリズムの意義や地域活性化につなげるポイントについて紹介する。続けて、アニメキャラクターを活用したコンテンツビジネスの事例として「東北ずん子」を展開するSSS合同会社CEO小田氏、自治体によるアニメツーリズムの事例として「政宗ダテニクル」を展開する伊達市、アニメ関連産業の東北圏での活動事例としてフィギュア業界のトップランナーである株式会社デザインココの大内氏より、それぞれの取組みや業界の現状認識等を紹介する。

漫画・アニメ業界と地域活性化の概観

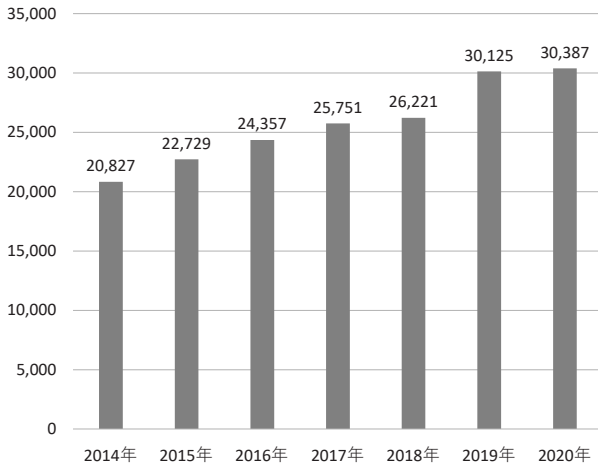
調査研究部 主任研究員 加藤 雄一郎

POINT

- 日本の漫画・アニメ産業は年々拡大傾向にあり、東北圏にも関連企業が一定数立地している
- 政府によるポップカルチャーを活用した文化外交や経済振興策が2000年代から始まり、東北圏の各自治体でも漫画・アニメを基軸とした地域活性化の支援が展開されている
- SNSの普及に伴い「聖地巡礼」が広まっており、東北にも一定数の聖地が存在

1 漫画・アニメ産業は拡大傾向にある

日本の漫画・アニメ産業は年々拡大傾向にあり、2020年で3兆387億円に達している。



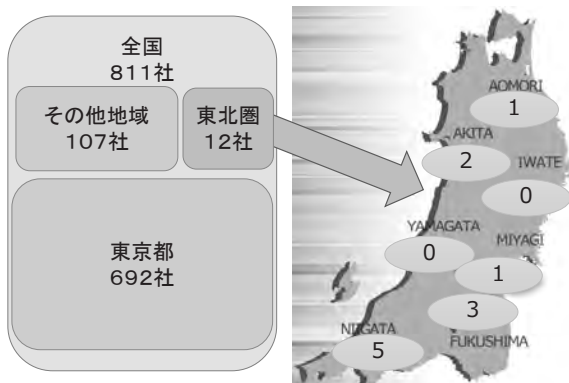
出典：一般社団法人日本動画協会「アニメ産業レポート2021」および公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所 HP (<https://shuppankagaku.com/wp/wp-content/uploads/2022/02/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B92202.pdf> 2022年6月23日閲覧) より、東北活性研にて集計

※アニメは「ユーザーが支払った金額を推定した広義のアニメ市場」の数値(単位: 億円)

2 アニメ関連企業は

東北にも一定数存在している

アニメ関連企業は全国で811社、東京都に692社、東北圏は12社である。首都圏に集中しているものの、近年のネット環境の整備やデジタル化の進展等を背景に、東北圏においても一定数が存在している。



出典：一般社団法人日本動画協会「アニメ産業レポート2021」より、活性研作成

3. コンテンツツーリズムが盛んに

日本政府によるポップカルチャーを活用した文化外交や経済振興策も2000年代から積極的に展開されており、各種関係団体の設立も進んでいる。

時期	出来事
2005	国交省・経産省・文化庁が「映像等コンテンツの制作・活用による地域振興の在り方に関する調査」を報告
2006	外務省が「ポップカルチャーの文化外交における活用」を報告
2007	国交省が「日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による地域活性化調査」を報告
2009	外務省が「ポップカルチャー発信使(通称カワイイ大使)」を任命
2010	経産省「クールジャパン室」設置 観光庁「JAPAN ANIME TOURISM GUIDE」
2012	国交省「観光立国推進基本計画」でアニメを観光資源に位置づけ 経産省「コンテンツ産業の現状と今後の発展の方向性」でコンテンツの「聖地」という表現を用い、そうした地への観光客増を戦略に位置づけ
2016	一般社団法人アニメツーリズム協会が発足
2017	一般社団法人アニメツーリズム協会による海外からの旅行者向け事業が官公庁の「テーマ別観光による地方誘客事業」に採択

出典：大谷尚之・松本淳・山村高淑(2018)「コンテンツが拓く地域の可能性ーコンテンツ制作者・地域社会・ファンの三方良しをかなえるアニメ聖地巡礼ー」より引用(抜粋)およびWebより筆者作成

外務省では、「アニメや漫画をはじめとする日本のポップカルチャーは、日本国内のみならず海外においても、若い世代を中心に人気を集め(中略)日本を代表する文化のひとつとして成長」と紹介している。(出典：外務省HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol138/index.html>)

このように、漫画・アニメを基軸としたツーリズムの活性化を後押しする動きが進んでいるが、東北圏の自治体等においても漫画・アニメコンテンツを活用して地域活性化に取り組む事例も見られる。以下一部を紹介する。

名称	プレイヤー	場所	事業内容
政宗ダテニクル	(株)ガイナ・伊達市	福島県伊達市	アニメ制作・グッズ・聖地巡礼創出
メディアミックス地域おこし	大槌町	岩手県大槌町	聖地巡礼創出・DX等を通じた地域商業者支援
み〜んなのふるさと応援プロジェクト	羽後町・タカラトミーアーツ	秋田県羽後町	アニメキャラとコラボしたあきたこまちの発売・PR
石ノ森萬画館	(株)まちづくりまんぼう・石巻市	宮城県石巻市	石ノ森萬画館の運営
横手市増田まんが美術館	横手市	秋田県横手市	漫画の原画の展示と保存

出典：Web より筆者作成

近年のSNSの普及により、アニメに登場する場所にファンが旅行で訪れる「聖地巡礼」がその認知度を高めており、自治体の取組みにおいても聖地巡礼に着目したものが一定数見られる。

4. 東北圏でも

聖地巡礼スポットが一定数存在

東北圏における状況はどうであろうか。一般社団法人アニメツーリズム協会では、アニメファンからの人気投票等に基づき選定する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」を公表している。2022年版によると、東北圏で選定された

聖地は12個所(全国で145個所)となっており、全国的にも人気の聖地が一定数存在するといえる。

漫画・アニメ等の名称	所在地
艦隊これくしょん	青森県むつ市
Wake Up, Girls! 新章	宮城県仙台市
釣りキチ三平	秋田県横手市
薄桜鬼 真改	福島県会津若松市
フライングベイビーズ	福島県いわき市
ウルトラマンシリーズ	福島県須賀川市
政宗ダテニクル	福島県伊達市
宮沢賢治童話村	岩手県花巻市
石ノ森萬画館	宮城県石巻市
横手市増田まんが美術館	秋田県横手市
新潟市マンガ・アニメ情報館	新潟県新潟市
新潟市マンガの家	新潟県新潟市

出典：一般社団法人アニメツーリズム協会 HP より引用(抜粋)

元来、聖地巡礼は、アニメファンが個人ブログ等で漫画・アニメゆかりの場所を紹介し、ファンの中で聖地として認知され、訪問者が増加していくという形で広まっていったものであるため、旗振り役といえる存在がいなかったが、近年、自治体などが参画して、聖地巡礼を後押しし地域活性化につなげようとする動きが出てきている。また、聖地巡礼が発生するためには、漫画やアニメが最初に存在することが必要であるが、本特集で取り上げる伊達市のように、何もないところからアニメを企画・制作し、聖地巡礼マップの作成、PR活動等を行うといったような、いわば能動的な聖地巡礼づくりも見られる。

5. アニメによる地域ブランド向上や コンテンツ制作会社の地域展開でも 地域活性化が可能

漫画・アニメによる地域活性化は、聖地巡礼によるものだけではなく、アニメによる地域イメージの長期的な向上や、コンテンツ制作会社の地域展開といった形によるものも考えられる。

上記を踏まえ、次の4氏から次頁以降で寄稿いただき、東北圏における漫画やアニメ等による活性化の現状把握と、地域活性化の展望を紹介する。

【宮城女子学院大学 大谷教授】

アニメ聖地巡礼(アニメツーリズム)がいかに地域活性化の起爆剤となり得るのか、アニメ聖地が全国および東北にどのように分布しているのか、アニメ聖地とアニメ制作会社との関係等について整理。コンテンツと地域資源の関係を考えるうえで興味深い事例として宮城県白石市の「戦国 BASARA」、さらには「東北ずん子」について紹介。アニメコンテンツを地域活性化につなげるためのポイントについて整理し、アニメコンテンツ(キャラクター)は、地域活性化の「道具」から地域活性化に取り組む「仲間」のような存在になることが重要と説く。

【SSS 合同会社 小田 CEO】

東北の企業なら無料で使えるキャラクター「東北ずん子」の誕生とそのビジネスモデル、東北ずん子の登場で起こったこと、テレビ放送への進出と制作費削減の仕組み、東北ずん子のプロジェクトで取り込んでいる様々な新技術、クラウドファンディングによる投資資金の調達、

「ずんだもん」などの周辺キャラクター等、様々な側面の工夫や特長を紹介。

【伊達市「政宗ダテニクル」】

伊達氏発祥の地である伊達市の歴史を多くの人に知ってもらうため、アニメ制作会社のガイナ(当時、福島ガイナックス)と共同で制作したアニメである「政宗ダテニクル」を紹介。キャラクターの様々な場面での活用、伊達氏ゆかりの地の整備による聖地巡礼の促進、「政宗ダテニクル展」「伊達なアニメフェス」といったイベント、公用車ラッピングカーや阿武隈急行線のラッピング車両等、アニメに関連する様々な取り組みや、続編の制作、世界での配信が期待されることも紹介。

【デザインココ】

デザインココの創業と沿革、フィギュア業界の概観、ビジネスモデルと特長、3Dプリンタと等身大フィギュア、同社の強みや宮城に拠点を置くメリット、課題認識、そして自社一貫体制の拡充と量産の国内回帰といった今後の展望について紹介。